

ヨーロッパでの 1 人当たりの名目 GDP と国の幸福度の関係

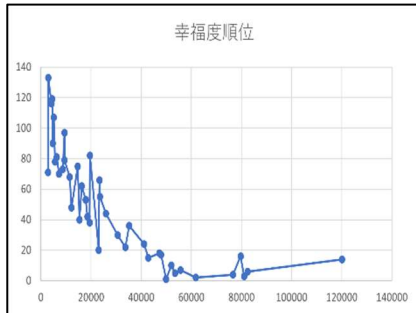
1 年 米澤明希

動機

前回、国の幸福度と自殺者数の関係を調べて、あまり大きな関係がなかったので、幸福度に大きく関係がしそうな国の一人当たりの GDP を比べることにした

まずは自殺者数との関係を調べようと思ったから。

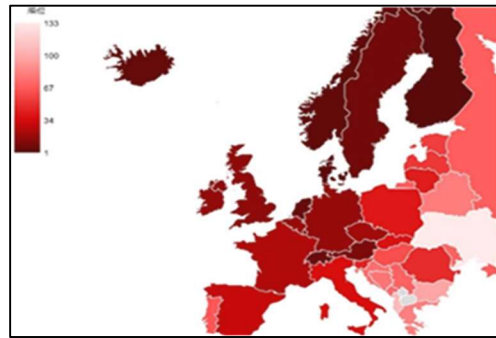
仮説 GDP の値が高いほど幸福度が高い



国名	GDP	幸福度順位
ルクセンブルク	120138	14
スイス	82530	6
ノルウェー	81102	3
アイルランド	79662	16
アイスランド	76624	4
デンマーク	61810	2
スウェーデン	55705	7
オランダ	53505	5
オーストリア	52047	10
フィンランド	49955	1
ドイツ	47993	17

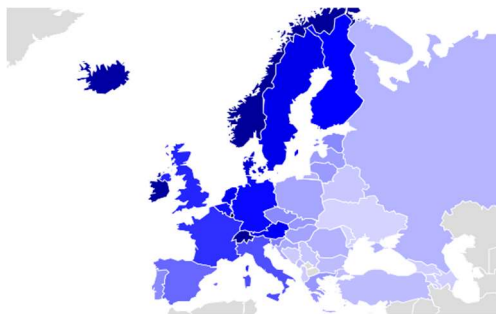
GDP は国民一人当たりの名目 GDP、幸福度は世界の国のなかでの順位を指す。(上位 10 か国、GDP の単位はドル)

世界幸福度ランキングの順位



北欧諸国や西ヨーロッパの順位が高くなっており、また世界 7 位までヨーロッパが独占している。基本的にヨーロッパの国々の順位は高くなっている。しかし、東ヨーロッパや紛争地域には低くなっている国も多くヨーロッパ内で格差があると言える。

人口一人当たりの名目 GDP



色が濃い国ほど GDP が高く、薄い国ほど低くなっている。一番濃い国がルクセンブルクで 120138、一番薄い国がモルドバで 2799 になっている

北欧系や中央ヨーロッパから西ヨーロッパにかけて GDP は高くなっている。東ヨーロッパでは GDP は低くなっており、この関係は、自殺者の人数と同様な関係があった。今回は大きさの関係で表は上位 10 各国しかのせられてないが、基本的には幸福度との関係があった。しかし一部の国では圧倒的に一人当たりの GDP が世界平均と比べて圧倒的に低いにも関わらず、幸福度の順位が世界各国上位半分の国も多かった。

考察と反省 今回調べていく中で、幸福度と国民一人当たりの GDP には関係があることがわかった。前回の研究と比較し自殺者数が多い国と国民一人当たりの GDP が低い国が多く重なっていたのでその要因となるものについて考えていきたいと思う

参考文献 <http://theworldict.com/rankings/annual-income/>